

フィルムフォーラム「めぐみ」

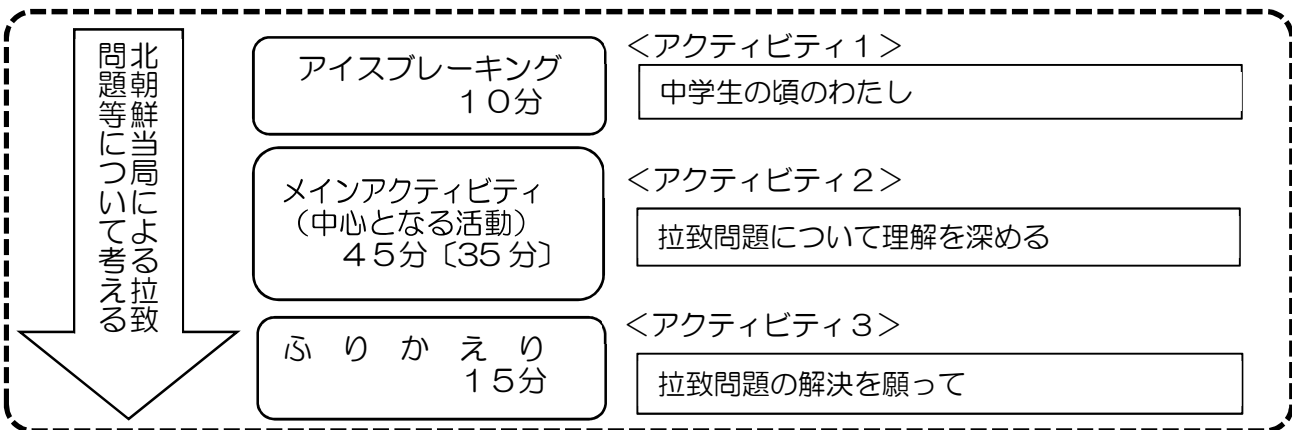
北朝鮮当局による
拉致問題等

ねらい

拉致問題啓発アニメ「めぐみ」を視聴して、拉致という行為が重大な人権問題であることを知り、他人事とせず、その解決を願う意識を高めます。

時間	70分〔60分〕	人数	1グループ4～6人
準備	映像資料（拉致問題啓発アニメ「めぐみ」 25分）〔短縮版 15分〕 資料①・②・③ 資料④・⑤・⑥（ファシリテーターが使用） ワークシート 筆記用具		

学習の流れ



<アクティビティ1> 中学生の頃のわたし

活動のねらい

自分自身が中学生だった頃のことを思い出す活動をとおして、拉致された当時のめぐみさんの姿をイメージし、拉致問題への関心を高めます。

活動の進め方

〈準備〉資料④

- 1 自分の名前、所属、中学生の頃の思い出を紹介し合います。
- 2 めぐみさんが拉致された1977年頃に話題になっていたことをキーワードに、めぐみさんの日常生活をイメージします。

実施の際のポイント

話しにくいことは、無理に話をしなくてもよいことを伝えます。
参加者同士が中学生の頃の思い出を話し合うことで、人それぞれ、様々な想いや経験があることを確認します。

資料④を使って1977年に話題になっていたことをいくつか紹介します。めぐみさんが拉致された当時を具体的にイメージさせますが、イメージがわからない場合は、拉致から長い時間が経っているということを確認して、次の活動につなげます。

<アクティビティ2> 拉致問題について理解を深める

活動のねらい

アニメの視聴をとおして、拉致は重大な人権侵害であるという認識を深めます。

活動の進め方

〈準備〉映像資料（拉致問題啓発アニメ「めぐみ」）
資料①・②・④ ワークシート

- 1 ワークシートを見ながら拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の概要を確認します。
また、アニメで扱われている、拉致に関するおもな出来事（資料①の☆印）を確認します。
- 2 視聴のポイントを確認後、映像を視聴します。
（25分）〔短縮版は15分〕
- 3 映像に登場するめぐみさんとその家族の気持ちを想像し、ワークシートに記入し、ワークシートに書いた内容をグループ内で発表します。
- 4 「日本政府が拉致被害者として認定している17名に係る事案①～⑫」（資料②）を確認し、拉致問題が依然として解決していないことを確認します。

実施の際のポイント

資料④あらすじの下線部が、資料①の☆印で示されている出来事であることを事前に確認しておきます。

資料①の☆印が、アニメで扱われている拉致に関するおもな出来事であることを伝えます。

視聴のポイントとして、以下の点を意識しながら、視聴するように声をかけます。

- ・強制的に家族と引き離されためぐみさんと家族の気持ち
- ・依然として解決しない拉致問題に対する家族の思い
- ・拉致によって、めぐみさんと家族が失ったことは何か

拉致は本人だけでなく、家族にとっても重大な人権侵害であることを確認します。

<アクティビティ3> 拉致問題の解決を願って

活動のねらい

重大な人権侵害である拉致問題を他人事とせず、その解決を願う意識を高めます。

活動の進め方

〈準備〉資料③ ワークシート

- 1 拉致問題解決のためにできることはないか、グループで話し合います。
- 2 今日の活動をとおして、感じたことや考えたことをワークシートに記入し、グループ内で発表します。

実施の際のポイント

意見が出た後に、ファシリテーターは資料③を紹介します。

めぐみさんの母親、横田早紀江さんの言葉「私たちは、北朝鮮に住む一般市民の人たちを、憎んだり恨んだりしている訳ではありません。ただ親として、今も北朝鮮に囚われの身となっている娘を助け出したいだけなのです！」を取り上げ、北朝鮮にかかわる一般市民に対する、新たな憎しみを生まないように注意を促します。

*本プログラムの実施後は

日本政府拉致問題対策本部ではアニメ「めぐみ」・映画「めぐみ」の活用状況に関するアンケートを実施しています。アンケート（資料⑤）に御協力ください。

資料①

横田めぐみさんが拉致された昭和 52（1977）年から令和元（2019）年まで

拉致事案①～⑫は資料②を参照

西暦	元号	めぐみさんの年齢	拉致に関するおもな出来事（☆はアニメ「めぐみ」で扱われている出来事）
1977	昭和52年	13	拉致事案①②③の発生 ☆めぐみさんの拉致（11月15日）
1978	昭和53年	14	拉致事案④⑤⑥⑦⑧⑨の発生
1979	昭和54年	15	
1980	昭和55年	16	拉致事案⑩⑪の発生
1981	昭和56年	17	
1982	昭和57年	18	
1983	昭和58年	19	拉致事案⑫の発生
1984	昭和59年	20	
1985	昭和60年	21	
1986	昭和61年	22	
1987	昭和62年	23	☆大韓航空機爆破事件発生 容疑者である金賢姫（キム・ヒョンヒ）の証言から北朝鮮による日本人拉致が判明
1988	昭和63年	24	
1989	昭和64年/平成元年	25	
1990	平成2年	26	
1991	平成3年	27	
1992	平成4年	28	
1993	平成5年	29	
1994	平成6年	30	
1995	平成7年	31	
1996	平成8年	32	
1997	平成9年	33	☆「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（家族会）」の結成・活動開始
1998	平成10年	34	
1999	平成11年	35	
2000	平成12年	36	
2001	平成13年	37	
2002	平成14年	38	☆第1回日朝首脳会談 金正日（キム・ジョンイル）国防委員が日本人拉致を認める。 ☆拉致被害者5人（資料②の※）の帰国
2003	平成15年	39	
2004	平成16年	40	第2回日朝首脳会談 地村さんの御家族、蓮池さんの御家族が帰国 曾我ひとみさんの御家族が帰国・来日 ☆北朝鮮がめぐみさんの遺骨を提出（鑑定の結果別人のものとは判明）
2005	平成17年	41	
2006	平成18年	42	「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」成立
2007	平成19年	43	
2008	平成20年	44	拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の企画・作成
2009	平成21年	45	
2010	平成22年	46	
2011	平成23年	47	「北朝鮮当局による拉致問題等」を「人権教育・啓発に関する基本計画」に追加する事を閣議決定
2012	平成24年	48	
2013	平成25年	49	
2014	平成26年	50	横田さん夫妻とキム・ウンギョンさん（めぐみさんの娘）との面会 （於：ウランバートル）
2015	平成27年	51	
2016	平成28年	52	
2017	平成29年	53	
2018	平成30年	54	
2019	平成31年/令和元	55	

参考）北朝鮮による日本人拉致問題 一日も早い帰国実現に向けて

<https://www.rachi.go.jp/jp/shisei/keihatsu/pdf/p-jp2019.pdf>

資料②

日本政府が拉致被害者として認定している 17 名に係る事案①～⑫

No.	拉致事案	拉致被害者（当時の年齢と失踪場所）
①	宇出津事件	久米 裕さん（52・石川県）
②	女性拉致容疑事案	松本 京子さん（29・鳥取県）
③	少女拉致容疑事案	横田 めぐみさん（13・新潟県）
④	元飲食店定員拉致容疑事案	田中 実さん（28・兵庫県）
⑤	李恩恵拉致容疑事案	田口 八重子さん（22・不明）
⑥	アベック拉致容疑事案	※地村 保志さん（23・福井県）
		※地村 富貴恵さん（旧姓：濱本）（23・福井県）
⑦	アベック拉致容疑事案	※蓮池 薫さん（20・新潟県）
		※蓮池 祐木子さん（旧姓：奥土）（22・新潟県）
⑧	アベック拉致容疑事案	市川 修一さん（23・鹿児島県）
		増元 るみ子さん（24・鹿児島県）
⑨	母娘拉致容疑事案	※曾我 ひとみさん（19・新潟県）
		曾我 ミヨシさん（46・新潟県）
⑩	欧州における 日本人男性拉致容疑事案	石岡 亨さん（22・欧州）
		松本 薫さん（26・欧州）
⑪	辛光洙事件	原 敕晁さん（43・宮崎県）
⑫	欧州における 日本人女性拉致容疑事案	有本 恵子さん（23・欧州）

○この他にも、拉致の可能性を排除できない事案として、883名（2018年10月現在）に関する国内外からの情報収集や捜査・調査が続いています。表中の※の5人は、2002年に帰国した拉致被害者を示しています。

参考） 政府拉致問題対策本部 HP <https://www.rachi.go.jp/jp/ratimondai/jian.pdf>

- ・ブルーリボン運動

拉致被害者の救出を求める国民運動は、ブルーリボンと青色を運動のシンボルにしています。青色は、被害者の祖国日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」を、また、被害者と御家族を唯一結んでいる「青い空」をイメージしています。

- ・北朝鮮人権侵害問題啓発週間
(毎年12月10日～16日)

北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、平成18年6月に、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行されました。国及び地方公共団体の責務等が定められるとともに、毎年12月10日～16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とすることとされています。

この週間には、国と地方自治体において様々な事業が実施されています。

- ・産経新聞による「めぐみさんへの手紙」の募集

産経新聞では、北朝鮮に拉致され、いまだに帰国が実現しない横田めぐみさんらすべての拉致被害者にささげる「めぐみさんへの手紙」を、全国の小中学生や高校生、大学生から募集しています。学校のクラス単位での応募可能です。お子さんやお孫さんらにもお勧めください。

(字数は問いません。おおむね原稿用紙1～5枚、400～2000字程度)

郵送の場合は〒100-8078 (住所不要) 産経新聞社編集局社会部「めぐみさんへの手紙」係へ。eメールはnews@sankei.co.jpまで。

住所、氏名、年齢、電話番号(小中学生の場合は保護者の方の連絡先)を明記してください。

参考)

政府拉致問題対策本部 HP

<https://www.rachi.go.jp/jp/minkan/index.html>

法務省 HP

<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken103.html>

産経新聞 HP <https://www.sankei.com/world/news/191104/wor1911040021-n3.html>

資料④（ファシリテーターが使用）

1977年に話題になっていたこと

- ピンクレディーが大流行。
「渚のシンデバッド」「ウォンテッド」「カルメン' 77」「S. O. S」がヒットする。
- キャンディーズが「普通の女の子に戻りたい」と引退を宣言した。
- 沢田研二が「勝手にしやがれ」で日本レコード大賞を受賞。
- TVドラマ「赤」シリーズが大ブーム。12月から放映の「赤い絆」の主演は山口百恵。
- 王選手がホームラン世界記録 756 号を達成。国民栄誉賞第 1 号を受賞した。

拉致問題啓発アニメ「めぐみ」のあらすじ

- ※ 平成 30 年 3 月 7 日付け 閣副第 78 号 29 文科初第 1576 号
北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品の活用促進について（依頼）から転載
<https://www.rachi.go.jp/jp/archives/2018/daijintsuuti0307.pdf>

○あらすじ

このアニメは、実際の事件を基にしたノンフィクションです。
下線部は資料②の年表に取り上げた出来事を示しています。

- 1977 年（昭和 52 年）新潟市の海岸近くに住んでいた横田めぐみさんは、普通の人たちと同じようにご両親や 2 人の弟さん達と仲良く生活していましたが、11 月 15 日の夕方、クラブ活動のバドミントンの練習を終えて下校する途中に突然、姿を消してしまいました。
- 帰ってこないめぐみさんを心配した御家族は、必死で探します。お父さんの横田滋さんは毎朝、少し早めに家を出て、海岸を見て回ったそうです。お母さんの早紀江さんも、家の事が終わると町のあちこちを歩き回ったり、警察の捜査だとか、TV 番組の公開捜査など、あらゆる手段でめぐみさんをさがしましたが、行方は、まったく分かりませんでした。
- ところが、行方不明になってから 2 年が過ぎた 1978 年（昭和 53 年）頃、日本海側で多くのアベックが姿を消してしまう事件の記事が新聞に掲載されました。その後、警察などの捜査や、1987 年 11 月に発生した大韓航空機爆破事件の容疑者である北朝鮮工作員金賢姫（キム・ヒョンヒ）の証言により、拉致された日本人女性が関わっていることが明らかになったことから、めぐみさんも北朝鮮に拉致されたのではないか、という疑いが濃くなってきましたが、北朝鮮側は「あり得ない」と言って徹底して否定してきました。
- めぐみさんの行方が判らなくなった事件については、行方不明になってから 20 年後の 1997 年（平成 9 年）に、北朝鮮から逃げてきた元工作員が「学校から帰宅する途中、北朝鮮へ連れ去られた当時 13 歳の少女が、北朝鮮で生きているという話を聞いた」という証言が新聞に報道されたことから、ご両親は、めぐみさんの実名を出した報道に踏み切り、横田さん御夫妻を中心に「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（通称：家族会）」が発足され、署名活動や関係国に対して、理解を求めるなどの救出活動が始まりました。
- そして、2002 年（平成 14 年）9 月の日朝首脳会談で、北朝鮮の指導者である金正日が、初めて日本人拉致を認め、謝罪しました。北朝鮮側の説明では、めぐみさんやその他の拉致被害者は既に死亡しているか、北朝鮮には入国していないということでしたが、北朝鮮が死亡と説明した根拠や証拠の確かさが低いことが判り、被害者のご家族や政府は、被害者の方々は生存しているということを前提として、北朝鮮に対して、拉致被害者の早期帰国と真相究明、拉致実行犯の引渡しを求めているところです。

資料⑥(ファシリテーターが使用)

・「めぐみ」を活用した場合、本アンケートを内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室まで FAX にて送信してください。

令和 年 月 日

内閣官房 拉致問題対策本部事務局 政策企画室 行

(FAX : 03-3581-6011)

都道府県名 _____

市区町村名 _____

学校(施設)名 _____

(国公立の別 : ・国立 ・公立 ・私立)

アニメ「めぐみ」・映画「めぐみ」の活用状況に関するアンケート

1. 何を視聴されましたか。該当するものに○を付してください。

アニメ「めぐみ」(全体版・短縮版) _____ 映画「めぐみ」()

2. どなたが視聴されましたか。該当するものすべてに○を付してください。

児童・生徒() 教職員() 保護者() 地域住民()

その他(具体的に記入してください) ()

3. 上記2. で「児童・生徒」に○を付した場合、次の(1)及び(2)にご回答ください。

(1) 教育課程上、次のどれに該当しますか。該当するものすべてに○を付してください。

教科の指導の中() 道徳(人権教育を含む)() 総合的な学習の時間()

特別活動(具体的に記入してください) ()

その他(具体的に記入ください) ()

(2) 視聴した学年に、○を付してください。(複数回答あり)

全学年() 1年生() 2年生() 3年生()

4年生() 5年生() 6年生()

4. その他、アニメまたは映画をご覧になったご感想、ご意見等をご記入ください。

アニメ、映画について :

職員の説明等について :

※この様式のワードファイルの送付を希望する場合は、上記事務局までご連絡ください。

※このアンケートの集計結果については、公表する場合がありますので予めご承知おきください。

ご協力、有り難うございました。

めぐみさんとその家族の気持ちを想像し、記入しましょう。



ふりかえり

今日の活動全体をとおして、感じたことや考えたことを記入しましょう。



拉致問題啓発アニメ「めぐみ」について

- 2008年に日本国政府拉致問題対策本部が企画、制作しました。（文部科学省選定作品）
- 拉致問題対策本部のウェブサイトにて無料配信されています。この問題を広く知ってもらうため、コピー、転載が自由にできます。日本語に加え、英語、中国語、韓国語、ロシア語の吹き替え版、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、タイ語の字幕版があります。
- DVDは各市町の公民館、生涯学習センター、コミュニティセンター及び県生涯学習課、各教育事務所ふれあい学習課、総合教育センター生涯学習部が所蔵しています。御連絡いただければ貸し出しします。
- 全編25分の作品ですが、2020年に短縮版（15分）も制作されています。